

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年11月2日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理グループ長 (氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,421	△1.4	367	△27.5	634	△0.8	509	8.0
29年3月期第2四半期	13,609	△0.0	506	12.9	639	36.5	472	53.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 466百万円(△1.6%) 29年3月期第2四半期 474百万円(26.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	18.81	—
29年3月期第2四半期	17.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,064	7,952	31.7
29年3月期	24,929	7,620	30.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,952百万円 29年3月期 7,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	0.1	680	△6.4	1,000	19.3	780	42.0	28.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	35,000,000株	29年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	7,890,604株	29年3月期	7,890,604株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	27,109,396株	29年3月期2Q	27,109,396株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。景気の先行きについては改善の継続が見込まれる一方、不透明な国際情勢の推移によるわが国経済への影響に留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において16.93セントで始まり、直後に17.18セントの高値を付けたものの、主要生産国ブラジルのサトウキビ増産予測などにより、世界需給の供給余剰見通しが拡大したことから下げ基調が継続し、6月下旬には12.53セントの安値をつけました。その後は、エタノール需要増の観測による上げ基調と砂糖の供給余剰見通しによる下げ基調が交互に推移し、13.54セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初195～196円で始まりましたが、粗糖先物相場の下落を受けて7月中旬に189円～190円に値を下げ、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、顧客満足を第一義とした取引先との信頼営業強化に努めました結果、業務用製品は堅調に推移したものの家庭用製品が伸び悩んだことから、売上高はほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は12,477百万円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益は781百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖事業は、腸内環境改善効果を始めとする「オリゴのおかげ」ブランドへの高い評価に基づく拡販をより着実なものとするため、主要量販店等への販売促進活動の強化に加え、イベントへの協賛及び広告他各種メディアを通じた一般消費者への訴求に努めましたが、販売数量及び売上高とも前年同期を下回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品及び非食品への拡販に努めました結果、売上高はほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は919百万円（前年同四半期比6.5%減）、セグメント利益は133百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は65百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は13,421百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は367百万円（前年同四半期比27.5%減）、経常利益は634百万円（前年同四半期比0.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は509百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

なお、当連結会計年度より、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。当変更に伴う影響につきましては「（セグメント情報等）」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて134百万円増加し、25,064百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金233百万円の増加、商品及び製品46百万円の減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて196百万円減少し、17,112百万円となりました。

これは主に、短期借入金が820百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金279百万円の減少、長期借入金の760百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて331百万円増加し、7,952百万円となりました。

これは主に、利益剰余金374百万円が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて133百万円増加し、1,241百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、743百万円(前年同四半期は151百万円の支出)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益635百万円、減価償却費327百万円等による資金の増加があった一方で、仕入債務の減少額279百万円、法人税等の支払額46百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、363百万円(前年同四半期は240百万円の資金支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出303百万円、無形固定資産の取得による支出36百万円、貸付金による純支出27百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、246百万円(前年同四半期は248百万円の資金収入)となりました。

これは、配当金の支払135百万円、借入による純支出111百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月11日公表の業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108	1,241
受取手形及び売掛金	1,801	2,034
商品及び製品	1,303	1,257
仕掛品	305	236
原材料及び貯蔵品	1,352	1,203
繰延税金資産	75	79
その他	971	1,016
流動資産合計	6,919	7,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,867	9,948
減価償却累計額	△6,137	△6,266
建物及び構築物(純額)	3,730	3,682
機械装置及び運搬具	11,068	11,076
減価償却累計額	△9,371	△9,469
機械装置及び運搬具(純額)	1,696	1,606
工具、器具及び備品	428	446
減価償却累計額	△365	△376
工具、器具及び備品(純額)	63	69
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	99	103
有形固定資産合計	10,824	10,696
無形固定資産		
ソフトウェア	10	137
その他	140	6
無形固定資産合計	150	143
投資その他の資産		
投資有価証券	5,004	5,160
長期貸付金	1,300	1,265
繰延税金資産	649	654
その他	81	75
投資その他の資産合計	7,035	7,154
固定資産合計	18,010	17,994
資産合計	24,929	25,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030	750
短期借入金	5,950	6,770
1年内返済予定の長期借入金	2,043	1,872
未払法人税等	59	122
未払消費税等	49	187
賞与引当金	81	78
その他	1,061	1,114
流動負債合計	10,276	10,897
固定負債		
長期借入金	5,908	5,148
退職給付に係る負債	791	738
その他	332	328
固定負債合計	7,032	6,215
負債合計	17,309	17,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,915	9,290
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	7,885	8,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△277	△326
繰延ヘッジ損益	△7	△5
退職給付に係る調整累計額	19	24
その他の包括利益累計額合計	△265	△307
純資産合計	7,620	7,952
負債純資産合計	24,929	25,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,609	13,421
売上原価	11,199	11,064
売上総利益	2,409	2,357
販売費及び一般管理費	1,902	1,989
営業利益	506	367
営業外収益		
受取利息	17	13
受取配当金	60	60
持分法による投資利益	115	245
その他	2	7
営業外収益合計	195	327
営業外費用		
支払利息	55	50
支払手数料	1	3
その他	7	6
営業外費用合計	63	60
経常利益	639	634
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
ゴルフ会員権評価損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	638	635
法人税、住民税及び事業税	139	114
法人税等調整額	27	10
法人税等合計	166	125
四半期純利益	472	509
親会社株主に帰属する四半期純利益	472	509

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	472	509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△51
繰延ヘッジ損益	4	1
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	2	△42
四半期包括利益	474	466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474	466

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	638	635
減価償却費	339	327
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△42	△53
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	△2
受取利息及び受取配当金	△77	△73
支払利息	55	50
為替差損益(△は益)	△1	△0
持分法による投資損益(△は益)	△115	△245
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
ゴルフ会員権評価損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△10	△233
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138	265
仕入債務の増減額(△は減少)	△498	△279
その他	△52	351
小計	102	739
利息及び配当金の受取額	78	74
利息の支払額	△55	△50
法人税等の支払額	△277	△46
法人税等の還付額	—	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	△151	743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△162	△303
無形固定資産の取得による支出	△49	△36
投資有価証券の売却による収入	—	3
貸付けによる支出	△530	△380
貸付金の回収による収入	500	352
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300	820
長期借入金の返済による支出	△915	△931
配当金の支払額	△136	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	248	△246
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△142	133
現金及び現金同等物の期首残高	1,179	1,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037	1,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,589	964	55	13,609	—	13,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	19	9	38	△38	—
計	12,598	984	64	13,647	△38	13,609
セグメント利益	807	222	28	1,058	△551	506

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,467	898	55	13,421	—	13,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	21	9	40	△40	—
計	12,477	919	65	13,462	△40	13,421
セグメント利益	781	133	32	947	△579	367

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、管理区分の見直しに伴い、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。